

<対策のポイント>

国民に安心して高品質な水産物を安定的に供給し、また、水産業の成長産業化を実現していくため、**産地市場統合や養殖適地の確保など水産改革と連動した漁港や漁場の整備を推進**します。併せて、災害に強い漁業地域の実現に向けて、**漁港施設の地震・津波対策や長寿命化対策等を推進**します。

<政策目標>

- 水産物の品質向上や出荷安定（流通拠点漁港での水産物取扱量の50%について新たに品質向上等を実現 [平成33年度まで]）
- 災害発生時の水産業早期回復体制の構築（30%の流通拠点漁港において実現 [平成33年度まで]）

<事業の内容>

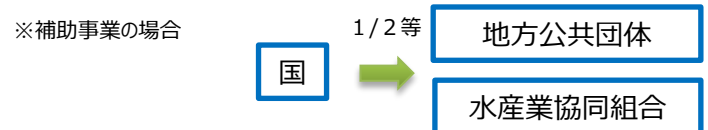
1. 水産物の流通効率化や生産性向上のための基盤強化対策

- 水産物の流通効率化に向けて、**拠点漁港における水産物の集出荷機能の集約・強化や衛生管理対策**などの流通機能強化対策を推進します。
- 養殖業等の水産物生産の中核的な地区において、**養殖適地の確保**などの生産機能強化対策を推進します。
- 水産資源の回復を図るため、海域全体の生産力の底上げを目指した広域的な水産環境整備を推進します。





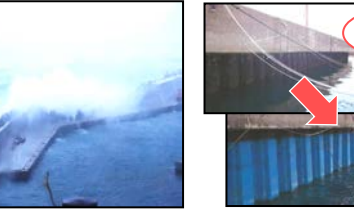

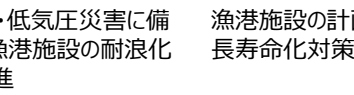
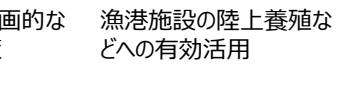
2. 災害に強い漁業地域づくりのための漁港施設の防災・減災対策、既存ストックの有効活用

- 大規模地震・津波や激甚化する台風・低気圧災害に対応するため、岸壁等**漁港施設の強化対策**を推進します。
- 漁港施設の**長寿命化対策**とあわせて、既存ストックの増養殖場への有効活用を推進し、施設の維持管理・更新費の増大の抑制を図ります。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

流通・生産機能の強化対策	水産資源の回復対策
 <p>集出荷機能集約・強化と衛生管理に対応した岸壁と荷さばき所の一体整備</p>	 <p>大規模養殖の展開を可能にする静穏水域等の造成</p>
 <p>資源管理と連携した広域的な水産環境の整備</p>	漁港施設の防災・減災対策
 <p>耐震強化岸壁等の施設の地震・津波対策</p>	 <p>台風・低気圧災害に備えた漁港施設の耐浪化の推進</p>
漁港ストックの有効活用	 <p>漁港施設の計画的な長寿命化対策</p>
 <p>漁港施設の陸上養殖などへの有効活用</p>	 <p>老朽化対策</p>